

泌尿器腫瘍の診断における CT・MRI の有用性及び予後予測の検討

1. 研究の対象

2005 年 4 月～2021 年 9 月に、当院で泌尿器腫瘍（膀胱癌、腎癌、腎盂癌、尿管癌、前立腺癌）が疑われたため、MRI を受けた方

2. 研究目的・方法・期間

泌尿器腫瘍（膀胱癌、腎癌、腎盂癌、尿管癌、前立腺癌）の手術前の診断には、現在、CT や MRI といった画像検査の他、血液検査、自然尿や腎盂尿管尿の細胞診、超音波、逆行性尿路造影、膀胱鏡、尿管鏡など様々な検査が行われています。今回の研究では、これらの検査所見やその後の経過を総合的に解析して、CT や MRI などの画像検査の有用性（病変を見つけ出す能力や病勢のすすみ具合の把握、経過の予測など）を検討することです。さらには腎盂尿管尿の細胞診採取や膀胱鏡、尿管鏡など身体に負担のかかる検査を画像検査に置き換えることができるかを検討します。

研究期間は、学校長承認後から令和 6 年（西暦 2024 年）3 月 31 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：CT、MRI などの画像検査、病歴、治療歴、その後の経過、採血結果等

4. 研究に用いる試料・情報の管理者

取得された個人情報を含む全ての臨床情報は、研究用の新たな番号を付与して、すぐには個人を特定できないよう加工し、個人情報管理者（研究責任者）が防衛医科大学放射線医学講座において、他のコンピューターと切り離し、厳重に管理されたコンピューターを使用して保管を行います（このような情報を仮名加工情報といいます）。仮名加工された情報と患者さんの情報を紐づける表（対照表）は、研究責任者が保管・管理します。

5. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対照表は、研究責任者が保管・管理します。データについては仮名加工し、パスワード管理された記録媒体に複写し、トラッキングできるシステムをもつ輸送業者に委託します。

6. 研究組織

慶應義塾大学病院	陣崎 雅弘
防衛医科大学学校病院	新本 弘

東京医科歯科大学病院 藤井 靖久

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

359-8513 埼玉県所沢市並木 3 - 2 防衛医科大学校病院 放射線医学講座
電話番号 04-2995-1511 (代表)

担当者：防衛医科大学校放射線医学講座 助教 江戸博美

研究責任者：

防衛医科大学校 放射線医学講座 新本 弘

研究代表者：

慶應義塾大学医学部 放射線科学 (診断) 陣崎 雅弘